

感染症発生状況

平成30年6月6日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年5月28日（月）～6月1日（金）の定点における発生状況をお知らせします。
定点23園の対象人数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 535名

1日あたりの延べ欠席者数 107名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数 114名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では **熱（221名）**、咳・鼻水（56名）、嘔気・嘔吐（47名）下痢・腹痛（40名）、
疾病ごと **胃腸炎（ノロウイルス13名・その他32名）**、インフルエンザ（16名）、気管支炎・
肺炎（13名）、リンゴ病（13名）

かぜ、胃腸炎はいつも通りの頻度です。インフルエンザは僅かながら流行しています。同時にノロウイルス、溶連菌感染、ヒトメタニューモウイルス感染症、RSウイルス感染症も気になります。おたふくかぜ、水痘も流行しております。

梅雨も間近ですので、食品の管理に注意ください。

【症状別の発生状況】

胃腸炎	玉山地域で減少。河北、盛南、河南、都南地域で増加しました。
インフルエンザ	河北地域で減少しました。
気管支炎・肺炎	河南地域で減少。厨川、河北地域で増加しました。
リンゴ病	河北地域で減少しました。

【県の状況（5/21～5/27）】

感染性胃腸炎は、盛岡市、大船渡及び奥州地区でノロウイルスによる集団感染事例が報告されました。過去3年間の岩手県では、冬季だけでなく、この時期にも多く報告されているため注意が必要です。予防には、石けんと流水による十分な手洗いと、患者の吐物や便の、塩素系薬剤を使用した適切な処理が重要です。

流行性角結膜炎は、一関、大船渡及び久慈地区で多くなっています。本疾患は、ウイルスに汚染されたタオル類や手指の接触から感染し、結膜の浮腫や充血、流涙などの症状がみられます。予防にはタオルの共用を避け、手洗いと消毒を行うことが重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤル）ファックス 652-3424】